

TXで異常時総合訓練

～本番さながらの訓練に圧倒～



隊員に救助される負傷者

訓練は、公募で選ばれた一般見学者らが見守る中、「走行中の列車が障害物と接触し、車両の第一台車が脱線し、架線切断、線路損傷、乗客の中に負傷者が発生した」との想定で行い、地元警察・消防・病院（災害派遣医療チーム）が参加しました。

車両から負傷者を救出する訓練では、救急隊員や災害派遣医療チームらが統率のとれた機敏な動きで、救出活動を行っていました。

その後、TXの社員らは、モーターカーと呼ばれるクレーン付きの車両で、線路上に発生した障害物を撤去し、切れた架線や線路損傷の修復作業を行い、運転再開に向けて、真剣に取り組んでいました。



障害物をクレーンで撤去

つくばエクスプレス（TX）の重大事故等の発生を想定した異常時総合訓練が11月20日、TX総合基地（筒戸）において開催されました。



車両見学には長蛇の列が…

つくばエクスプレス（TX）まつり2009が11月3日、TX総合基地（筒戸）において開催されました。当日は、冷たい風が吹く肌寒い日となりましたが、7000人を超える鉄道ファンや家族連れが訪れ、にぎわいました。会場には、ヘッドマークを付けた車両展示コーナーをはじめ、運転室見学や電車の床下見学、保守車両の展示・実演など、

TXまつりにぎわう 家族連れや鉄道ファンら

普段は見ることでできない場所が見学でき、多くの鉄道ファンをはじめ、子どもたちが楽しんでいました。

さらに、車両外の会場では、沿線自治体や警察署によるPR活動、各鉄道会社のグッズ・飲食物販売などが盛大に行われ、どのブースも多くの来場者でにぎわいを見せていました。市内から家族と一緒に来場していた5歳の男の子は「初めて運転室に入りました。運転室はとてもきれいでかつよかったです。将来は運転手さんになりたいです!」と満面の笑みを浮かべていました。

シルバーリハビリ体操指導士 3級養成講習会 修了式

市と県立健康プラザが共催して、シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会が8回コースで行われました。このほど、谷和原保健福祉センターにおいて修了式が行われ、市長から受講者に修了証書が手渡されました。

本指導士は、高齢者の介護予防を推進するためにシルバーリハビリ体操を普及するボランティアです。この体操は、リハビリテーション医療の中でなされる障害学・動作学の立場から組み立てられているため、どなたでも簡単にできる体操です。生活動作を楽にしたり、筋力をつけたり、体の柔軟性を高めることで肩こり・腰痛・ひざ痛・転倒などを予防することが期待されます。



市長を囲むシルバーリハビリ体操指導士の皆さん

中学生が男女共同参画を考える

～市内中学校の2年生に啓発講座～

茨城県の男女共同参画推進月間（11月）にあわせ、中学校2年生を対象に、男女共同参画社会のあり方や取り組みを考えてもらおうと、市職員が各中学校で出前講座を実施しました。

『将来の夢をかなえるために』と題し、性別や慣習にとらわれず、自分の個性や能力をいかせる社会の形成に向けて「今からできることは何か」などについて、身近な事例を取り上げながら説明しました。



講座を熱心に聞く生徒の皆さん（谷和原中）